

【概要】第五次長崎県子ども読書活動推進計画（R6～10）

第四次長崎県子ども読書活動推進計画（R1～5）

- 市町の推進計画策定率の向上
- 児童生徒の読書量及び不読率（全国との比較において良好）
- 幼児期における家族10分間読書に取り組む割合の向上
- 公共図書館のサービスの充実
- 学校司書等の配置率の向上
- ▲家庭における読書活動の二極化傾向
- ▲図書ボランティア数の減少（新型コロナの影響）
- ▲一斉読書に取り組む学校の割合の減少

第四期長崎県教育振興基本計画（R6～10）

「つながりが創る豊かな教育」 児童生徒へのアンケート

文科省

第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（R5～9）

- 不読率の低減
 - ・乳幼児期からの読書習慣の形成
 - ・主体的に読書に興味、関心を持てるような取組の推進
- 多様な子どもたちの読書機会の確保
- デジタル社会に対応した読書環境の整備
- 子どもの視点に立った読書活動の推進
- 必要な環境及び体制の整備
 - ・市町の計画の策定
 - ・福祉部局等との横断的な取組
 - ・第6次「学校図書館図書整備等5か年計画」を踏まえた整備

長崎県読書バリアフリー推進計画（R5～9）

子どもを取り巻く教育環境の動向

- 主体的・対話的で深い学び、探究学習、個別最適な学び
- GIGAスクール構想による一人一台端末の整備
- ふるさと教育の推進

第五次長崎県子ども読書活動推進計画（R6～10）



読みたい本が

いつも子どものそばにある

1 重点課題

- (1) 人々のつながりを生かした読書活動の推進
- (2) 子どもの主体的な読書活動の推進
- (3) 多様な子どもの可能性を引き出す読書環境の整備



2 推進のための方策

- (1) 推進体制の充実
出かけよう！図書館へ
- (2) 家庭における読書活動の推進
つながろう！広げよう！読書の輪
- (3) 地域における読書活動の推進
引き出そう！読みたい 知りたい 伝えたい
- (4) 学校等における読書活動の推進

第五次長崎県子ども読書活動懇談会